

わたくしは、去る8月の市長選挙におきまして市民の皆さまの信任を得、引き続き市政を担当させていただくことになりました。

これまでの4年間、厳しい財政事情の中ではありましたが、中部台地土地区画整理事業の完了、中山道会館・学校給食センター・森山浄水場のオープン、乳幼児医療費助成対象年齢の引き上げ、外国人集住都市会議でのみのかも宣言、堂上蜂屋柿の食の世界遺産への認定、大学との地域連携協定の締結など第4次総合計画に基づく事業の進展に努めてまいりました。これはひとえに市議会をはじめ、多くの市民の皆さまの力強いご支援ご協力があったからこそでありまして、ここに改めて感謝申し上げます。

現在、来年度から向こう10力年の新しい総合計画「美濃加茂市第5次総合計画」が完成したところです。計画の策定に当たっては、市民意識調査や中学生アンケート調査、地区別まちづくり市民ワークショップなどを実施し、多くの意見を取り入れてまいりました。その意見をもとに、市民の皆さまからも委員を募って立ち上げた総合計画審議会で議論を重ね、基本計画の答申をいただきました。わたくしは、この答申を十分に尊重し、総合計画として市民の皆さまと一緒に実行していきたいと考えております。

そこでわたくしは、美濃加茂市が将来にわたってずっと輝き続けることができるよう、「ひとにやさしいまちづくり」を目指して、次のことについて取り組んでまいります。

- ・誰もが安心して暮らせるまちをつくります。
- ・元気で活力に満ちたまちをつくります。
- ・誰もがいきいきと活躍できるまちをつくります。
- ・自然と環境を守り美しい風景が残るまちをつくります。
- ・市民の皆さまと共に行動し市民の皆さまにオープンな市役所をつくります。

少子高齢化の急激な進行、地方分権改革の進展、さらには昨年からの経済、雇用情勢の悪化など我々を取り巻く社会経済情勢が大きく変わろうとしている中、市においても大きな変革の時期を迎えています。

今、こんな時だからこそ、総合計画の基本理念である「将来もずっと輝き続けることのできるまち」を目指し、「まあるいまち みのかも」づくりに、市民の皆さまと一緒に頑張って全力で取り組んでいきますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

美濃加茂市長  
**渡辺直由**  
Naoyoshi Watanabe

市民の皆さまの  
力を結集して  
ひとにやさしいまちづくりに  
全力で取り組みます

## 2期目の決意

